

平成21年度 前期研修会

日時 平成21年 9月28日(月) 13:30～
場所 福岡市民会館 小ホール
福岡市中央区天神5-1-23
電話: 092-761-6567
主催 社団法人 日本照明家協会九州支部
共催 九州地区照明・音響・舞台事業者協会
対象 支部会員、事業者協会員、一般舞台関係者

◇研修目的

私達の照明業界の展望をどうすれば明るいものにできるか、それに従事しているみんなの研究討議するために、協会員に限らず広く一般関係者にも参加を呼びかけ、各々自身の考えを発言できるような研修会を開催する。

2コマのプログラムのうち、一つは以前から色々な観点で論議されてきたライセンスに的を絞り、その試験内容から更新制度の取組がどう進められるか、現在の取得者にとっては関心の高いテーマと思われるので、本部試験委員の役員の方に出席をお願いし、講演から質疑応答までのサポートをお願いする。

もう一コマは、現在の私達の業界を大きく左右する指定管理者制度にどう向き合っていくのか、行かなければならないのか、またライセンス問題の取組によってはそこにも大きく関わりがあり、業界の未来展望に良くも悪くも影響が有るのではないかと、それを踏まえて参加者と支部執行部との意見交換、質疑応答、研究討議の場を設ける。標題にはもっと広範囲の「照明業界の明日」とし、色々な自由意見を求め発言しやすい一コマとする。

◇研修会案内先

- | | |
|--------------------------|----------------|
| *九州支部会員 | 241名 |
| *九州地区照明・音響・舞台事業者協会（共催団体） | 41社+10社（賛助会員） |
| *公文協加盟館（福岡県、佐賀県、大分県） | 122館 |
| *2級技能認定取得者（過去3年間） | 82名（内、協会員3名除く） |

□スケジュール

敬称 略

時 間	内 容
13:00～	受付開始
13:30	主催者挨拶 (社)日本照明家協会九州支部 支部長 井上 勝
13:35～	<p>「照明技能認定制度の展望」 (質疑応答含み90分)</p> <p style="text-align: center;">“どうかえるかライセンス”</p> <p>講師 (社)日本照明家協会 湯澤 薫(2部技能認定試験委員)</p>
15:05～	休 憩 (15分)
15:20～	<p>「照明家協会、照明業界の明日を語り合う」 (90分)</p> <p style="text-align: center;">“私達の照明業界をどう輝かせるか！”</p> <p>参加者 (社)日本照明家協会九州支部執行部と 参加者全員による座談会</p>
16:50	終了挨拶 (社)日本照明家協会九州支部 副支部長 佐藤勝朋

「照明技能認定制度の展望」

“どうかえるかライセンス”

講師 (社)日本照明家協会 湯澤 薫(2部技能認定試験委員)

湯澤講師から技能認定制度のこれまでの経緯、これからの在り方及び更新制度に関する諸々の問題点などをわかりやすく説明して頂き、受講者の質疑応答については、次の座談会形式の講座にて行うとして、90分の講義は間断なく終了しました。

特に、更新制度の取組にはたくさんのハードルがあり、これまでの取得者の最新情報が不足していること、それに伴う告知・連絡方法をどうするかが最大の問題点として残されており、まだまだ十分な論議が必要とされている現状が理解できました。

最後のくくりとして、標題の「どうかえるか」という表現について、私達自身もどうなって欲しいのか、当事者として自己の考えを持ってこの問題を討議しなくてはならない、と提議をお願いしました。

「照明家協会、照明業界の明日を語り合う」

“私達の照明業界をどう輝かせるか！”

(社)日本照明家協会九州支部執行部と参加者全員による座談会

登壇者：(社)日本照明家協会2部技能認定試験委員 湯澤 薫
：(社)日本照明家協会理事 稲田 智治
：(社)日本照明家協会九州支部支部長 井上 勝
：(社)日本照明家協会九州支部広報委員 日高 仁志
：(社)日本照明家協会九州支部事務局長 松田 弘志

九州支部執行部の支部長以下4人と湯澤氏を交え、参加者との座談会形式での意見交換会を実施しました。

冒頭の登壇者自己紹介後、参加者より更新制度の取組の具体化を要望する意見が出され、告知では或る程度の足切りは仕方がないのではないか、また新聞広告などで広く広報すれば良いのではとの発言もありました。それについては運営する側としては、限りなく公平性を持って対処しなくてはならないなど、慎重を期すべきであると回答しました。

また、2級については、各支部長権限で認定していることから、各支部で更新制度の取組を実施しても正当性があるのではないか、との意見もあり、何れにしても更新制度の進捗に関して活発な論議となりました。

別の意見では、会員のメリットの議論に及び、協会の公益法人移行に絡めて会員メリットの考え方の観点を説明、各自のモチベーションの維持を論議しました。

他に、会員手帳の発行に関する質問もあり、個人情報仕方がないが、会館情報や関連団体情報などは必要ではないかとの問いに、公益法人移行と合わせ、先日の全国支部長・事務局長会議で協議されたことを参考に、協会の今後の在り方全般についての説明も行いました。





◇まとめ

今回の前期研修会は、4月の支部大会にて承認された研修会企画案とは内容が大きく変化しました。というのは、開催時期から逆算した作業スケジュールに多少の無理が生じ、参加者確保や事業予算の費用対効果にも疑問が残り、さらに12月の後期研修会との予算配分も含め再検討した結果、現在の研修内容に変化することとなりました。

当初の機器展を視野に入れた福岡市民会館の小ホールの会場変更が効かず、講演、座談会と言う内容にしては、会場設定に多少の違和感が残りました。その状況下で、四国支部館内での不測の出来事に、話題性としては不謹慎ながらタイムリーなものとなり、関係者の関心も深まったのではと思っておりましたが、残念ながらホールの一角を濁す程度の参加人数となってしまいました。

その中でも、研修会参加者から活発な議論が飛び交い、中身の濃い有意義な研修会となりました。

最後に、研修会企画に本部からの理解を得、湯澤2部試験委員に講師を務めて頂き、後の座談会にも質疑に対する応答も頂き、支部事業が成功裡に終わりましたことを改めてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

平成21年10月 1日

(社)日本照明家協会九州支部
事務局長 松田弘志